

インタビュー

実行委員会 手づくりの 成人式

成人式実行委員会委員長
今村 省悟さん

思い出に残る成人式となるようにしようと、実行委員が一丸となって頑張りました。出席した友人から「申間に戻ってきたくなる式だった」と言ってもらえ達成感を味わうことができました。成人式を支えてくれた多くの方々に感謝します。



実行委員の皆さんお疲れさまでした。



「夢」に向かって進んでゆく 若者を目指して

1月8日、串間市文化会館で成人式が開かれ、229人の新成人が式に参加。
ここまで育ててくれた両親や家族への感謝を胸に、新成人としての1歩を踏み出しました。

懐かしい思い出がよみがえる

▶▶▶▶▶ Back to 2003

成人式に合わせてタイムカプセルの開封もありました。福島小学校6年3組の卒業生は、新成人20人が集まり開封。カプセルに入っていた自分へあてた手紙や当時の絵などを見て思い出話に花を咲かせていました。また、平成12年に休校となった大納小学校では、当時の在校生で最年少だった2人が成人したことを記念し、タイムカプセルを開封。地域の方々も開封に参加し、お互い思い出を語り合っていました。



大納小学校



福島小学校

1月8日、串間市文化会館で成人式が開催されました。式には229人の新成人が参加。振りそでや羽織はかま、スーツに身を包んだ新成人たちは、記念の式にふさわしい晴れやかな笑顔をみせていました。

今年の成人式も実行委員会による手づくりの式です。昨年9月に実行委員会を発足。思い出に残る成人式とするため、直前まで何度も会議を行いました。テーマは「夢」。「口蹄疫などの苦難を乗り越えて、若者が夢に向かっていくことを目指したい」という思いを込めて決定しました。

式では新成人を代表して谷口陽さんが「今日のこの感激をこれからの私の人生に生かし、名実共に成人となることを決意します」と誓いの言葉を述べていました。

式の前後には新成人の思い出を振り返るスライド上映や抽選会が開催され、会場は大いに盛り上がりました。

式終了後、福島小学校や有明小学校などで卒業生によるタイムカプセル開封が行われました。また翌9日には平成12年に休校となった大納小学校にて、休校になった当時の在校生によりタイムカプセルの開封が行われました。開封に立ちあった方々は、当時の思い出を語り合っていました。